

第3期泉区地域福祉保健計画（素案）についての区民意見募集結果

- 1 募集期間 平成27年8月10日（月）～9月9日（水）
- 2 回答方法 素案冊子の添付ハガキの郵送、FAX、eメールまたは直接持参
- 3 意見総数 9件
（4名：男性・女性各2名、40～64歳1名、65歳～74歳1名、75歳以上2名）
- 4 意見一覧
 - (1) 意見の趣旨が計画（素案）に含まれているもの

番号	関連する項目	内容	区としての考え方
1	推進の柱1	好きなスポーツ等でグループの輪をつくり、汗かいて笑って楽しく継続することで健康管理になり、元気で問題解決に協力してくれる。	健康であることは自分らしくいきいきと暮らすために重要な要素の一つであり、活動を継続しやすくなるよう工夫することが大切であり、推進の柱の1つとしています。
2	推進の柱1	地域事業に参加していただくこと、それは常日頃から交流と話し合い、そして元気であること。スポーツの仲間と疎通ができれば「いざ」というときは協力してくれる。	
3	推進の柱2	「まち」が元気であることは、隣近所と仲良く笑顔で挨拶をして何でも話せる関係と思いやりの心が大切。友人を大切に。	地域での支え合いを進めるためには、誰もが同じ地域で暮らす仲間という意識を育み、日頃からのつながりづくりを進めることが大切だと考え、推進の柱の1つとしています。
4	推進の柱3	年金生活で余裕のある元気な高齢者の活用を図る。	計画を推進していくためには、今後も世代に関わらず多くの方々に参加していただく必要があり、推進の柱の1つとしています。
5	推進の柱3	若い人が参加するまちにするには、こどもの参加事業に父兄の出席と、中学校長は地域の交流と信頼から。	
6	推進の柱3	ボランティアの不足解消策としては、有償のボランティア（1回に付500円程度）の活用が効果的で、依頼者とボランティア相互に遠慮がなく利用できるのではないかと。	

7	推進の柱3	<p>高齢化が進み、ますます厳しくなっていく世の中。そういった中でここに書かれていることはとても大切なことだと思いました。但し、普通に生活をしていると、「取組」を実感できにくい状況です。</p> <p>計画の内容や取組状況について発信の工夫をされた方がいいと思います。</p>	<p>御理解いただきありがとうございます。</p> <p>今後も計画の内容や地域での取組状況を的確にお伝えするために、様々な媒体を活用した情報発信を進めていきます。</p>
---	-------	--	--

(2) 計画に反映するもの

番号	関連する項目	内容	区としての考え方
1	推進の柱2	<p>地域の集いや会議に出席して「ひとつ」の問題に皆で話し合い前向きな意見を述べていただくこと、アイデア、ヒントを出してもらう。ストレスの溜まらない、笑いもあり感動もあり、やる気の出る人間関係が大切です。</p>	<p>御意見の趣旨を踏まえ、推進の柱2「人と人、活動と活動のつながりがあるまち」の重点項目2「活動のネットワークと連携を強化する」の説明に内容を追加します。</p>

(3) 意見として参考にするもの

番号	関連する項目	内容	区としての考え方
1	計画全体	<p>計画に「絆」「地域」「見守り」「助け合い」とあるが、町内活動や地域の見守り、いいことばかりではない。悪口を言い合ったり、けんかしたりマイナス面の方が多い。なのに、計画ではどうしてこういったことを書くのか。自由にやりたい人も多い、しがらみ無く生活したい。</p>	<p>個人の考えや価値観、生活様式は多様であり、尊重すべきものと考えます。</p> <p>地域福祉保健計画は地域の様々な福祉保健に関する課題を解決し、「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくり」を進めるための計画であり、計画を推進していくためには、個人の考えや生活を尊重しながらも、地域の皆様が一体となった取組を進めていただくことが欠かせないと考えています。</p>